

奴の誘いは命がけ、”NO”の言葉が死の合図。

クリスチャン・スレーター

エステラ・ウォーレン

マイケル・クラーク・ダンカン

ハット・トゥ・インター

PURSUED

クリストファー・タボリ監督作品

LIONS GATE FILMS presents
A SHAWK ENTERTAINMENT IN SIGHT FILM & VIDEO Production
in association with FIRST INDEPENDENT PICTURES
CHRISTIAN SLATER PURSUED GIL BELLLOWS
ESTELLA WARREN SALL RUBINER and MICHAEL CLARKE DUNCAN
Music by JOEY NEWMAN Editor ALISON GRACE
Production Designer PHIL SCHMIDT Director of Photography MIKE SOUTHWON, BSC.
Co-Producer ORRIN STROLLI Co-Executive Producer ALISON SEMENZA
Executive Producers PETER M. LENKOV ROBERT SNUKAL DAN GRODNIK
ANDREW STEVENS Producers KIRK SHAW JAMES SHAWICK
Written by MAGGIE APRIL Directed by KRISTOFFER TABORI
Produced in Association with ClioTV (Vancouver)
With the participation of The Canadian Film or Video Production Tax Credit
Shawik Entertainment, Inc. © 2004 In Sight Film & Video Productions

2004年/アメリカ映画/ヒストサイズ/SRD/96分
宣伝・配給協力: フリーマン 配給: インターフィルム



ヘッドハンター

2004年/アメリカ映画/ビスタ/SRD/上映時間96分/原題:PURSUED
宣伝・配給協力:フリーマン 配給:インターフィルム

ヘッドハンティング=それは約束された
高収入へのステップアップ。
だが、断わったことから悪夢が始まった!

能力のある人材を高収入の条件で引き抜く[ヘッドハンティング]。究極の追跡システムを完成させて資金繰りに悩む会社を救おうとするベン(ギル・ペロース)の元に、ビンセント(クリスチャン・スレーター)というヘッドハンターが現われる。社長(マイケル・クラーク・ダンカン)に恩義を感じているベンは高条件の話を断るが、ビンセントはこれまでターゲットをものにするためには殺人をもいとわない危険な男だった。あらゆる手を使い強引なヘッドハンティングを開始したビンセントは、ベンが知らない間に彼の妻エミリー(エステル・ウォーレン)と幼い娘に近づく。夫婦の亀裂、そして同僚たちの疑心暗鬼。ベンがビンセントの罠に追い詰められていく。

クリスチャン・スレーター初の悪役に挑んだ
最新ノンストップ・サスペンス。

出演作品では常に善役を演じているクリスチャン・スレーター。彼は脚本を読んでオファーされた役よりもヘッドハンター役に魅力を感じ、直接プロデューサーに役柄の変更を熱望して実現した。そして実際にヘッドハンティングの専門家に取材協力を依頼し、2か月間の同行でよりリアルに演じることを目指した。

共演は、ヘッドハンターのターゲットになって心身共に追い込まれる技術者に「アリー my Love」(TV)のギル・ペロース、その妻に「PLANET OF THE APES 猿の惑星」のエステル・ウォーレン、そして技術者の会社の社長に「グリーンマイル」のマイケル・クラーク・ダンカンと魅力ある俳優陣が顔を揃えた。監督は「ダーティハリー」でおなじみの故ドン・シーゲルの息子で「弁護士」のクリストファー・タボリが手がけている。

究極のヘッドハンターからは、誰も逃げ切ることはいかない!!

ヘッドハンティング

罠にはまらないために
気をつけろ〜5カ条

① 相手からの贈り物(中に盗聴器がしかけてあるかもしれないぞ〜)

② 偶然の出会い
(知らなかったふりして会ってるかもしれないぞ〜)

③ 同僚たちの噂(火のないところにも煙は立たせられることを覚えておけ〜)

④ 家族からの説得
(ちゃんと説明しとかなないと相手の話を信用してるかもしれないぞ〜)

⑤ おいしい話(ラクしていい話なんかはない〜裏があると思って熟考しておけ〜)

9月23日(金・祝)より都内独占レイトロードショー!!

限定 前売ご鑑賞券 ¥1500 好評発売中!

上映時間は劇場および情報誌等でご確認ください。

銀座三越先
歌舞伎座手前

銀座シネパトス

03
(3561)
4660